

ベンゼン低濃度で血球減少



ベンゼンは化学工場などで使われ、白血病を起こすリスクがある発ガン性物質として規制されていますが、空気中の濃度が 1ppm 以下と低くても白血球数の減少など血球に影響を及ぼすことが米国立ガン研究所などの調査で分かりました。

調査はベンゼンを使っている工場の労働者 250 人と使っていない工場の労働者 140 人を対象に白血球数などを調べました。ベンゼンを使う工場では、働いている環境の濃度により以下の 3 群に分類して調査しています。

1ppm 未満

1ppm 以上、10ppm 未満

10ppm 以上

調査の結果、白血球数の平均値はベンゼンを使わない工場に比べ、で約 15%、で約 13%、で約 26% 少なく、他にリンパ球数の減少などもみられました。

以上からベンゼンは空気中の濃度が 1ppm 以下でも血液学的影響を及ぼすことが示されました。

ベンゼンについては、日本では労働安全衛生法に基づき管理濃度を 10ppm としてきましたが、2004 年 10 月に 1ppm に改正しています(施行は 2005 年 4 月)。

資料:2004 年 12 月 4 日付 朝日新聞

クロマト研究箇所 木村 俊

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

